

令和3年1月18日

グループ法人職員 各位

【会長代理通達 2021-3】
鳳凰会グループ
赤津会長代理

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中で、毎日、気の抜けない業務、お疲れ様です。標記の件について、法人としては以下のように考えています。

今後、ワクチンの情報が増えるとは思いますが、現時点では職員の皆様に強かに『皆さん一斉に接種しましょう』と号令をかけるのにはワクチンの情報が少なすぎます。

このため、新型コロナウイルスワクチンの接種は『職員の任意選択』と致します。

現状認識：

1. 国は医療従事者、介護従事者等を優先接種対象者に設定し、日本で最初に接種を受ける対象者としています。1月中旬に概数を把握するため、各機関からの概数申請が必要ですが、名簿提出は後日となりますので、接種するか、しないか悩んでいる場合は接種希望で申請し、後日取り下げで対応することが可能です（1月15日に埼玉県の説明会で確認済み）。
2. コロナワクチンを製造した各企業は、有効率を95%あるとデータを出しています。しかし、本当にそれほどの有効率があるかは、ワクチン接種した人数が少なく確実に信用できる数字かは疑問です。ちなみに、インフルエンザワクチンの有効率は70%ですが、実際のデータでは40%との報告があります。また、コロナワクチンはコロナ感染を防ぐものではなく、重症化を防ぐものと理解しています。コロナワクチンに関しては、重度の副作用としてアナフィラキシーショックが、当初は数千人に1人と報告がありましたが、その後2万人に1人と訂正されています。アナフィラキシーショックは、本来は2回目から起きるものと理解していますから、おそらく2回目の接種のアナフィラキシーショックの数は1回目を上回ると思います。
3. 最初に接種されるファイザー社のワクチンについては海外の有名な学術誌に報告されています。治験にエントリーされた人達の年齢は16 - 89歳で、2回接種後、短期間（2か月程度までしか検討できていない）は有症コロナを95%、重症コロナを89%抑制し、個人の感染防御には有効です。副反応は発熱、倦怠感、頭痛、悪寒、筋肉痛、注射局所の疼痛、腫脹があり、21%に認められました。但し、この治験でわからないことは、16歳未満での効果が不明、妊婦、免疫抑制下での効果は不明、高齢者に限定した真の効果は不明、無症コロナを抑制するかは不明、罹患した場合、他人への感染性を減少させるかは不明、接種後数か月以降の長期間での予防効果は不明です。長期間の観察が困難な現状では先に接種を開始した米国、英国等の感染状況の今後が参考になるとは思いますが、日本人に対する効果については日本で広範に接種されて初めて明らかになってくると思います。ファイザー社は治験後の成績を踏まえ、懸念されているアナフィラキシーの頻度を10万人に1人と数字を変えて発表していますが、実地臨床の場は治験下での厳重なフォローとは異なりますので、数字の解釈は慎重にしなければならないと思います（今後も数字が変わる可能性がある）。
4. 大事な点ですが、予防接種が有効だとしても、平素の感染予防策が不要になることを意味しません。職員の皆様におかれては、これまでの感染予防策の徹底を引き続きお願い致します。

以上